

国土交通省 中国技術事務所でする災害対策

災害発生時のリアルを知る研修を行いました

9月24日(木)に、広島市船越公民館の声かけにより、船越地区の地元の皆さん・自主防災連合会の町内会長の皆さん(計26名)に、「いざという時のために知っておきたい防災講座」の研修を行いました。

「防災講座(座学)」・「降雨体験機」

降雨量と災害の関係、安全な避難の仕方を説明・降雨体験機で時間雨量100mmの猛烈な雨を体験



※受付は広島市船越公民館と一緒にコロナ対策を行いました。

降雨体験は、時間雨量と人への影響・屋外の様子・どのような災害が発生するか学習した後、時間雨量20,50,100mm(猛烈な雨)まで体験して頂きました。

「災害対策機械」

対策本部車、分解組立型バックホウ、排水ポンプ車の排水実演、照明車の機能を説明



構内施設を利用し、排水ポンプ車は実排水を実施。

『国が持っている大きな排水ポンプ車はどのような事態の時に使うのか?』などの質問がありました。

「土のう作り体験」

土のう袋の仕様・入手方法、土を詰める量、紐の結び方、積み方、自宅での対応方法などを説明



【感想】

- 一般では見聞きできないことを経験させていただき、ありがとうございました。短い時間で大雨災害に対する国交省の対応がよくわかりました。
- 大災害に備え、平素の備えをしておくべきであるという気持ちを強くしました。
- 年々日本での災害が大きくなり、各自でどうすべきか対策を立てる必要があると感じました。
- いつも前を通るのに何をするといいかわかりませんでした。大変なお仕事をしていることがわかると同時に町内で心強く、誇らしく思いました。
- 中国技術事務所の中に入り、災害に対して迅速に対応できるよう対策ができていたのを知りました。
- 国土交通省の方々の災害時に働いてくださる苦勞がよくわかり目の前で見て大変良かったです。
- 大災害の時に使用する大きな機械や車両などあり、頼りになると思いました。